

# 訪問リポート

ファルコン電子(株) (横浜 市港南区港南台1-1-20、☎045-367-8326)の横浜テクノロジセンター内では、各システムが整然と設置され、防塵衣に身を包んだ数人が完成したICの最終チェックに勤しんでいる。そんなシステムの1つ

## ファルコン電子

正サービスな ころ語るのは、代表取締役

# 書き込み・捺印・外観検査に一貫対応

## 高まるADAS関連需要

目を凝らしてみると、テープ対応自動プログラミングシステム「AT3-310A2」がフル稼働し、完成したICチップが次々とテープに巻き取られていく。臨機応変に対応している。

は最大搬送速度時で1時間あたり2200個のICを同時処理できるのだ。緻密なレーザー捺印や検査工程を求める日本の顧客ニーズにもシステム設定を調整し、臨機応変に対応している。

「装置の提供のみならず、当社自身が装置を使い、デバイスメーカーの仕様書に沿って自動でデータ書き込みを行うサービスも提供している。そのため、ユーザが抱える細やかな課題を

は月2500万個の対応能力を誇る。今後の展望を木下氏は次のように描く。「自動車系ではカーナビゲーションやパワーステアリング向けのコントローラ(マイコン) 需要にはすでに対応しているが、今後はADAS関連の需要が高

人である。横浜開港150周年記念日にあたる2009年6月に設立され、19年に満10周年を迎えた。両社ブランドで超高速ギャンングプログラマ、自動ROM書き込み装置、2次元・3次元外観自動検査装置、自動位置決め機能付きレーザー捺印装置の販売、保守、校正サービスな

種自動化装置10台を設置。少数精鋭の従業員7人が従事し、高精度かつ効率的な供給体制を構築している。台湾HILLOの人員、環境とも受注内容に合わせて連携する。そんな同社の最新製品は、次世代ギャンングプログラマ「ALL-300G2/GU2シリーズ」だ。「最近では車載のADASを納入済みだとしており、ファルコン電子では今後、同社HILLOにALL60にALL300G2/GU2シリーズを搭載し

のため、横浜拠点では需要状況に応じて最大30台まで増強することも視野に入れている。人材面は無理に増やすのではなく、台湾のHILLO社員と連携して対応することになるだろう。また、書き込み系のデータセキュリティはより強化していく予定だ。」



代表取締役 木下浩彰氏

「装置の提供のみならず、当社自身が装置を使い、デバイスメーカーの仕様書に沿って自動でデータ書き込みを行うサービスも提供している。そのため、ユーザが抱える細やかな課題を

現親会社のHILLOと出会う、対等な立場での日本法人設立の提案を受けた」とを契機に同社設立に至った経緯がある。横浜テクノロジセンターには防塵対策、静電対策が施され、約2億円相当の各

はADAS関連の需要が高まってくるのを見ている。そ